

朗読作品

永遠 | 大人とは何だらう | 今日は針の気げんがわるい  
露のいのち | ほし | われわれのにがい義務  
一生 | 君死にたまふことなかれ 他七作品

作品作家

アルチュール・ランボー | 茨木のり子 | 小熊秀雄  
尾形亀之助 | 北村透谷 | 佐藤おりぎ | 関口篤  
平戸廉吉 | 与謝野晶子 他

朗読者

春日李心 | 徳水辰博 | 二階堂恵子 | 山下照夫

特別ゲスト

朗読 大山大輔 演奏 小関佳宏

明治、大正、昭和時代の作品を朗読。その時代を生きた  
文豪たちが残した詩は、現代を生きる私たちに、音や色、  
匂いや感情を伝えてくれる。

一日差しが照る夏の盛りに、ちょっとここで、ひとやすみ—

朗読会

Vol.6

ひとやすみ



2019年 7月21日(日) 入場無料

はじまり・・・14:00 / おわり・・・16:00

場 所・・・石巻市立雄勝小・中学校  
3階多目的ホール  
(石巻市雄勝町大浜字小滝浜2番地2)

お問合せ 0225-90-3770

| NPO法人雄勝まちづくり協会  
| 休館日:毎週火曜日

主催 NPO法人雄勝まちづくり協会/石巻市雄勝文化協会  
協力 石巻市雄勝地区復興応援隊



## 特別ゲストプロフィール



大山大輔氏 Daisuke Ohyama バリトン歌手

東京藝術大学首席卒業。同大学院修士課程オペラ科修了。兵庫芸文センター《メリー・ウィドウ》ダニロ役にて鮮烈なデビューを飾って以降、多くのオペラで活躍。特に“井上道義 × 野田秀樹”による《フィガロの結婚》フィガ郎や、手塚治虫原作・宮川彬良作曲 歌劇《ブラック・ジャック》タイトルロール、異彩を放つシアターピース、バーンスタイン《ミサ》でのセレブラント等、独自性の強い作品での主役として圧倒的な存在感を示している。また古楽や宗教曲においてもコンサートソリストを務める他、役者として演劇作品にも多数出演。劇団四季ミュージカル《オペラ座の怪人》ではタイトルロールとして客演するなど幅広い活躍を見せており、その多彩な経験と独自の表現力から、台本執筆、MC・ナレーション、歌唱・演技指導にも定評がある。洗足学園音楽大学ミュージカル・声楽コース講師。



小関佳宏氏 Yoshihiro Koseki クラシックギター奏者 作・編曲家

クラシックギターを佐藤滋氏、永島志基氏、作曲を佐藤弘和氏、ジャズ・ポピュラー理論を稲垣達也氏に師事。クラシックギターの独奏を基本とし、ヴァイオリンやピアノ、チェロなどの様々な楽器や、声楽家、朗読家と共演。国内はもとよりアメリカ、ポルトガル、フランス、香港で演奏を行ってきた。映画や舞台の作曲を手掛ける他、これまでに9枚のアルバムをリリース。編曲家としても高く評価を受け、村治佳織をはじめ多くのギタリストに作・編曲作品を提供している。また「月刊現代ギター」誌上にて、コラムとギター独奏用の編曲楽譜の連載を担当するほか、「ギターソロ曲集・久石譲」(出版元:現代ギター社)他、編曲を担当した楽譜も多数出版されている。クラシックギターの可能性を追求すると共に、その魅力を発信し続けている。日本ギタリスト協会会員。日本ギター合奏連盟常任理事。東北福祉大学クラシックギター部講師。Wonder World Works 代表。

## 朗読者 作品紹介

## 春日李心

朗読会に初めての参加となる小学三年生。朗読するのは、当時6歳の女の子が綴った詩「ほし」と尾形龜之助「今日は針の気げんがわるい」の二作品。日常を切り取った風景が浮かぶ子どもの声に癒されたい。

## 二階堂恵子

雄勝町名振出身、仙台在住。子供たちへの読み聞かせの経験をもつ。ひとつひとつの言葉が紡がれるような温かい語り口は、多くの人を物語の世界に引き込んでいく。今回は、与謝野晶子の作品とフランスの詩人アルチュール・ランボーの作品を朗読する。

## 徳水辰博

雄勝硯生産販売協同組合勤務。4年振りの参加となる今回は、約130年前の作品、北村透谷の「露のいのち」と他一作品を朗読。印象に残る徳水氏の声が作品をより引き立てる。

## 山下照夫

朗読会初参加となる、今回最年長の朗読者。関口篤「われわれのにかい義務」、平戸廉吉「一生」の二作品を朗読。何十年も前に書き残された言葉が山下氏の語り口で生きてくる。重なり合い醸し出される、特別な空気感に注目したい。